

全力でやらせていただきます。

前田です。これは「究極のゼミ合宿 其の伍」の案内文です。「其の伍」は2013年9月21日と22日の土日に1泊2日で実施します。関西で。翌23日は祝日です。

基本的には、「其の四」と同じ内容です。つまり、世界最高レベルの問題集を利用して、リスニング・文法・語彙・読解の勉強をしていただきます。もしかして、あなたが勝手に設定しているかも知れないリミッターを外していただきます。ただし・・・

参加資格が少し違います。

「TOEICのスコアを保有している」ことは従来通りの参加要件です。公開テストであれIPテストであれ、受験経験があることは必須。で、今回は、保有スコアについて制限を設けません。最新の保有スコアが860点未満であること。申し込みフォームを送信する時点での、あなたのスコアが860点未満であることです。

そして、少人数制です。

定員を減らし、16名だけ参加可能です。少人数で濃くやります。

ボクたちがイメージする参加者は、次の要素を1つ以上満たす人々です。

1. TOEICの受験や学習が好きな人
2. 現在のスコアが500点～855点の人
3. 「即効の50点アップ」より「1年後の300点アップ」に価値を感じる人
4. あのETSが作った問題を解きまくり、試験本番でニヤリとしたい人
5. 2日間で16時間もTOEICの勉強をするなんて無理だと思う人
6. 継続的に学習できるようになるためのきっかけが欲しい人
7. 精神を鍛えたい人
8. 勉強を楽しめるようになりたい人
9. facebookで偉人の言葉に「いいね!」をクリックするが、まったく行動しない人
10. TOEICが好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
11. そんな人を肯定的にとらえられる人
12. このリストが前回より短いことに気づいている人

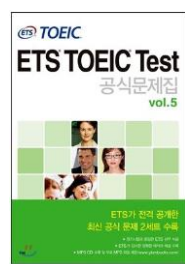
Day-1 13:00～23:00

Day-2 8:00～18:00

これらの中に演習や講義、ディスカッションなどの時間があります。それらを合計すると、だいたい16時間くらいになりますが、実際は、初日の最終セッションが終わるのは24時を過ぎる可能性が高いです。「其の四」でもそうでした。

教材は、再び「公式」です。

『ETS TOEIC TEST 공식문제집 vol.5』です。この本は、2013年4月末に韓国で発売されました。日本で2012年6月に発売された『新公式問題集 Vol.5』の中身とは異なります。



「其の四」で使った際に、濱崎教官が、こう言っていました。

「これ、本物と変わらないですね」

ボクもそう思っています。ま、公式問題集なので当たり前ですが。

よく、市販されている教材について「この模試は公開テストより簡単だ」とか「これは公開テストを反映している良書だ」とか、いろいろなレビューが世に飛び交っています。が、「其の伍」で使う、この問題集は「仮にそのまま日本で公開テストとしてマルマル登場しても違和感を持たないくらい、素晴らしい問題集でござす」と宣言できます。世界最新の ETS クオリティにドップリ浸りましょう。

合宿現場で本書を手にすることを想定しますが、すでにお持ちになっていても、参加していただくのは問題ありません。教材費を差し引きます。教材費は2,100円に設定してありますが、購入ルートによっては、もう少し安く、またはもっと高く買えます(ボクは3,650円で買いました)。ですから「自己手配」でもOKです。申込時に申告していただきます。なお、この本の「解説」と「訳」は韓国語で書かれています。ラッキーですね。日本語が大量に収録されていると、いつの間にか、英語ではなく日本語により長い時間を費やしてしまいがちだからです。合宿中は、日本語をほとんど読まずに過ごしていただきます。どうしてもそれが嫌ならば、参加しないことを強くお勧めします。

また約束します。

個別のQAサービスです。ぜひ、利用してください。

この本に収録されているアイテム（練習問題）について、どうしても理解できないことがあれば、ボクたちに質問していただければ回答します。

例えば、「第2回模試の197番の正解が正解であることに納得できない。これが正解になる理由を考えてみたけれど、正解となる根拠がどこにあるのか？」といった質問です。

質問には個別にメールで対応します。ボクたちは、通常、このような役務サービスを提供していませんが、韓国の本を指定するからには、自分たちの責任範囲であると思い、個別に対応することにしました。ただ、無期限にするわけにはいかないので、2013年12月31日まで有効とします。ただし、ボクたちは翻訳者ではありませんから、「訳」を提供することはできません。

合宿でやること。

この本には、2時間のテストが2セット収録されています。2日間で、だいたい16時間の学習時間を用意しますので、何らかの形で、すべてに取り組んでいただきます。

静かに黙々と解答する時間もありませんし、ていねいな講義もあります。ディスカッションや質疑応答もあるでしょう。解答のスキルを学んでいただく時間。悩みをシェアする時間。解決策を考える時間。長期的に力を伸ばすための学習法を伝える時間。今は書けないアクティビティ、合宿後も学習を続けていただくためのワークなど……。かなり有益だと思います。

「其の四」では、濱崎教官が、数年前に地道に実践していたある学習法について、かなり詳しく解説しました。どの本にも書かれていない内容を詳細に語りましたので、もし、それを聞いて実行に移すだけでも、相当に力が伸びるだろうと思いました。

「其の四」に参加した方の中で、数週間後に大きい成果を出した方がいたことは事実ですが、あえて紹介しません。ボクたちは、短期で成果を出していただくことを目指していないからです。1ヶ月後の50点UPより、1年後の300点UPを大切に。後で落ちない力を養成する。そんな気持ちで臨みますから、あなたにもそういう気持ちで参加して欲しいです。

教官たち。

これまでと同様に、ボクと濱崎さんが教官です。濱崎さんは、『新 TOEIC TEST 全力特急 絶対ハイスコア』『この TOEIC テスト本がすごい！』『新 TOEIC テスト 990 点攻略』の著者であり、編集者&講師として活躍しています。もう少し詳しく紹介します。

濱崎潤之輔

～かつて何が何でも 900 点が欲しかった男～

毎月 20～40 冊以上の TOEIC 対策本を使った勉強に明け暮れたものの、挙句の果てにスコアダウン。TOEIC 学習にすべてを捧げていたのに決して報われることの無かった日々を過ごす。その後しばらくは 800 点台前半のカベをブチ壊せずにもがき続けていた……

偶然知り合ったヒロ前田氏からアドバイスを受け、その年の秋に学習スタイルを根本から改革、約半年後、3 月実施の TOEIC 公開テストにおいて 100 点以上のスコアアップ、970 点を取得。

それ以来、革命的な成果を出した「3 回チャレンジ法」の実践を TOEIC の問題集・参考書はもちろんのこと、いかなる英語関連書籍、そして一般書を読む際にも適用し続けている。TOEIC を愛するアツい思いは消えず、その後は 990 点取得だけを目指して受験し続け、現在は 990 点を 10 回以上取得。

かつては単語集の見出し語・10,000 語以上をすべてパソコンに入力する、同じ問題集を 10 回以上も徹底的に復習するなど、従来の TOEIC 学習の常識をぶち壊す行動が、世の学習者のみならず指導者たちを震撼させた。あの神崎正哉氏に「日本で一番 TOEIC の勉強をやっている」と言わしめた男。

「自分以外全てが師」であるという信念から、あらゆるレベルの学習者、そして、TOEIC 講師・英語講師たちとの交流にも積極的で「いかに自分の努力が足りていないのか」を再認識し続けることにより自らを律し鼓舞している。

高嶺の花をつかむことに拘り続け、今もなお孤高の存在を目指す求道者、ここにあり。

ブログ：独学で TOEIC990 点突破を目指す！

好きな言葉：「才能とは自分自身を信じる力だ」

趣味：総合格闘技、TOEIC を愛する人たちとの交流

著書：『新 TOEIC TEST 全力特急 絶対ハイスコア』ほか

* この情報は 2013 年 8 月現在のものです

ボクが何者なのかを、これを読んでいる方に説明する必要はないと思いますが、知りたい方は、プロフィールが [amazon にあります](#)ので、読んでみてください。

「其の伍」の詳細です。

日時：2013年9月21日（土）13時～22日（日）18時 ＊初日の集合は12:30

会場：滋賀県（近江高島駅の近く／詳細は申込者にお伝えします）

定員：16名（男女別に大部屋を利用します）

教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田

費用：参加費 39,900円＋教材費 2,100円＝42,000円（税込／1泊3食付き）

＊教材が「自己手配」の場合は39,900円（税込）です

初日は12:30に近江高島駅で集合。13時にセッション開始。終了は24時前後の予定。2日目は8時からセッション開始。解散は18時です。

1泊3食です。例外はありません。宿泊が無理なら「合宿」にならないので参加できません。近江高島駅は京都駅からJRの新快速で38分です。11時45分に出発&12時23分到着。

＊近江高島駅に集合した後で、送迎バスで移動します。

教材は初日に配布します（1人1冊とします）ので、事前購入は不要です。



スコットランドのクラブハウスをイメージして作られた施設を使います。

ご注意ください。

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**申込締切日は2013年8月31日（土）の24時**です。その前に空席がなくなれば締め切られますが、空席があれば二次募集を行います。

ご入金の日は、お申し込みの約1週間後です。状況により、**ご入金後のキャンセルには取消料が発生します**。確実に参加できることを確認してからお申し込みください。

特典が2つあります。

1つ目は「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権です。過疎化していない交流スペースがfacebookにあります。ま、あくまでも「特典」ですから、利用必須ではありません。facebookを利用しないのであれば、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。

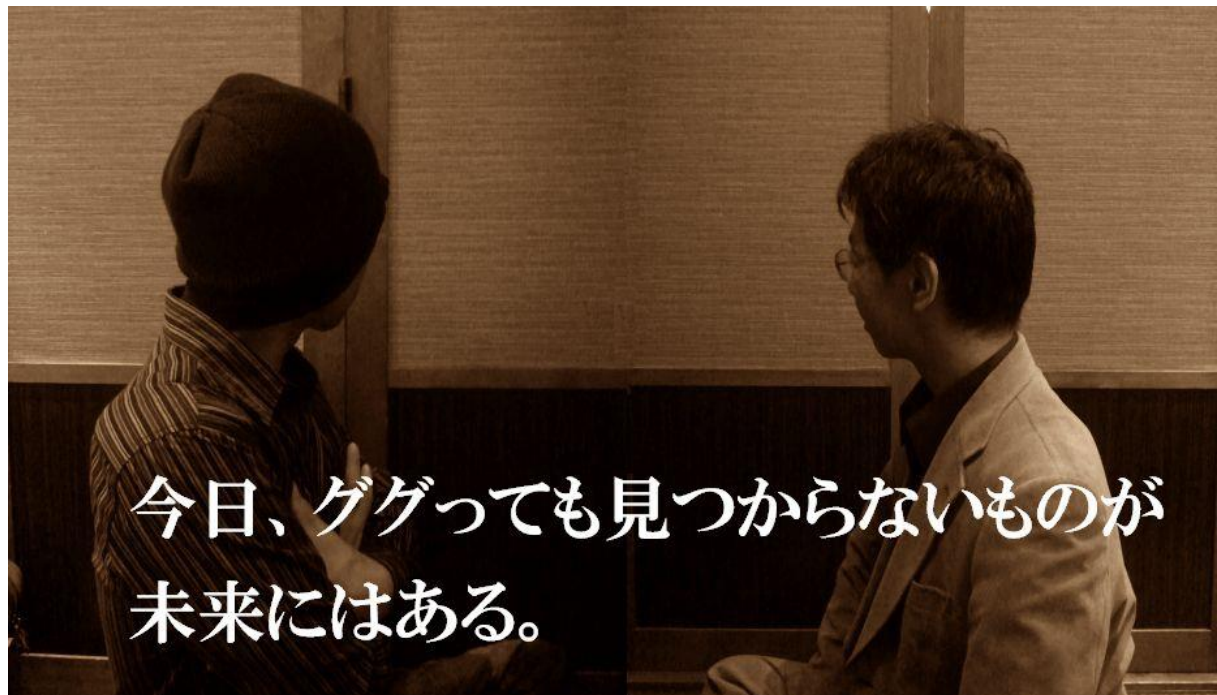
もう1つは、使用するテキストの「語彙・文法チェックテスト100」です。これは、ボクと濱崎さんが作ったオリジナルテストです。実際のテストを詳しく知っているボクたちが、パート6とパート7に登場する重要な語句をパート5形式に仕立て上げた100問です。ちゃんと利用していただければ、ものすごく成果が出るでしょう。そして、これら100問に対する質疑応答も、2013年12月末日まで個別に受け付けます。

申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の伍」への参加を希望される方は、この[フォーム](#)を使ってください（携帯不可）。自動返信でメールが送られ、参加費の入金方法が伝えられます。

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/fgen/S31268984/>
(満席の場合はフォームが表示されません)

追伸もあります。



追伸

今日、あなたが自分のスコアや喜びの声をインターネットに載せたとします。グーグルは、ほぼ確実に今日中にそれを発見し、検索結果に表示します。

でも、あなたが未来に書く喜びの声を、今日のグーグルは見つけることができません。それは、あなたが自分で創り出す未来だけに存在しますから。

今日とは違う未来を見つめながら、ボクたちと一緒に学んでいきましょう。

2013年8月18日 ヒロ前田